

議会 だより

平成29年
第2回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

平成29年田原本町議会「第2回定例会」が6月1日から8日まで8日間の日程で開かれました。閉会日の6月8日には地域子育て支援拠点事業及び保育所補助金等適正化調査特別委員会より調査報告が行われました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○平成28年度田原本町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

個人番号カード交付事業ほか11件について、総額14億988万3173円を繰り越したもの

○平成28年度田原本町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

流域下水道事業費440万円を繰り越したもの

○平成28年度田原本町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

介護保険システム改修費210万7350円を繰り越したもの

《可決した案件》

○平成28年度田原本町一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告

(全員賛成)

事業者より大口の寄附金があったことに伴い、ふるさと応援基金への積立金を増額補正するもの

○田原本町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

○田原本町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

「地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律」の施行に伴い所要の改正を行うもの

○田原本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の軽減対象世帯の拡大を図るため、均等割・平等割の軽減措置に係る軽減判定所得の算定式の一部を改正するもの

○田原本町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

成)

道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の改正に伴い、案内標識の番号を変更する改正等を行うもの

○田原本町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の改正に伴い、非常勤消防団員等に係る扶養親族加算額及び加算対象区分についての改正を行うもの

○平成29年度田原本町一般会計補正予算(第1号)(全員賛成)

総務費、田原本町行政改革推進委員会の開催に要する経費35万円の増額と、衛生費、やまとクリーンパークへ不燃・粗大ごみを搬入するための協議に時間を要することから、業者に委託するためのごみ処理委託料920万円の増額を補正するもの

○道の駅レスティ 唐古・鍵の設置及び管理に関する条例(全員賛成)

道の駅を設置し、管理するための条例を制定するもの

○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

附属機関に「田原本町行政改革推進委員会」を追加する等の改正を行うもの

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

人事院規則の改正に伴い所要の改正を行うもの

○田原本町税条例の一部を改正する条例(全員賛成)

○田原本町都市計画税条例の一部を改正する条例(全員賛成)

「地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律」の施行に伴い所要の改正を行うもの

○田原本町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(全員賛成)

介護保険法施行規則の改正に伴い、主任介護支援専門員研修の受講を義務付ける等の改正を行うもの

○交流促進施設(道の駅)建設工事請負契約締結について(全員賛成)

交流促進施設の建設工事を、契約金額5億4709万2000円で渋谷・山本特定建設工事共同企業体と請負契約を締結するもの

《採択とした意見書》

第2回定例会で採択された意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる意見書(賛成多数)	吉田容工議員

《否決した決議書》

決議書	提出議員
森章浩町長辞職勧告決議(賛成少数)	吉田容工議員

○公共下水道整備等工事(特)第29-1号の請負契約締結について(全員賛成)

町道味間八田線などにおいて、下水道工事191・6メートルと道路改良工事223メートルを契約金額5863万3200円で安井建設株式会社と請負契約を締結するもの

○公共下水道整備等工事(特)第29-2号の請負契約締結について(全員賛成)

町道富本2号線などにおいて、下水道工事282・2メートルと上水道工事390・2メートルを契約金額4863万3480円で吉村建設株式会社と請負契約を締結するもの

○南幼稚園園舎耐震補強工事請負契約締結について(全員賛成)

園舎2棟の耐震補強工事を契約金額6372万円で、山本工業株式会社と請負契約を締結するもの

○指定管理者の指定について(全員賛成)

町自転車駐車場の指定管理者に、阪神管理サービス株式会社を指定し、指定の期間を平成29年9月1日から平成32年8月31日までとするもの

○天理市との定住自立圏形成協定の一部変更について(全員賛成)

協定項目より「一般廃棄物の効率的な広域処理の推進」に係る取り組みを削除するもの



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

西川 六男 議長

今期定例会では地域子育て支援拠点事業及び保育所補助金等適正化調査特別委員会(百条委員会)の調査結果の報告を辻委員長から受け、最終報告書が議長に提出されました。

議長として町長にこの報告書を手交し、「報告を真摯に受け止め、再発防止に努め、町民の皆様の信頼を回復するように全力を挙げる事」を申し入れました。また、「森章浩町長辞職決議案」が提出され「賛成少数」で否決しました。

5名の議員から一般質問、議題では農業委員の任命等の同意案件2件と、議案23件について慎重に審議し可決しました。

吉田 容工 議員

森章浩町長辞職勧告決議を提出しました。百条委員会の証人尋問を通じて、愛和会からの接待攻勢(中元歳暮、有馬温泉旅行、ゴルフ)が本

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 沢田貴子氏
任期 平成30年1月1日から
平成32年12月31日

《同意した人事案件》

○農業委員会の委員の認定農業者等過半数要件の例外規定適用につき議会の同意を求めることについて

農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は認定農業者等に準ずる者とするに議会の同意を求めるもの

○農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 岩井正氏、上田高明氏、上田幸弘氏、大倉康至氏、栗山佳三氏、澤井実氏、西浦正嗣氏、前田長良氏、松岡幸巳氏、松本雅史氏、安田喜代一氏、吉川正之氏、安井正人氏
任期 平成29年7月20日から
平成32年7月19日



《総務文教委員会》

質問 南幼稚園園舎耐震補強工事請

町の保育行政を歪めた実態、そこに、森章浩町長が絡んでいたことが明らかになりました。また、愛和会の理事であったにもかかわらず、その責任を自覚されていない証言もありました。責任を負わない政治家に本町のかじ取りを任せるわけにはいかなしいと趣旨説明しました。百条委員会で全議員が証言を聞いたにもかかわらず、賛成は日本共産党議員だけでした。この町長は要注意です。

植田 昌孝 議員

清掃工場建設検討特別委員会に付託されました清掃センター管理費の委託料の補正予算について質問しました。現在、不燃・粗大ゴミがやまとクリーンパークで処理できない関係で、民間へ処理委託する費用であるとのことでしたが、やまとクリーンパークで処理できたとしても同程度の費用が発生するとの説明でした。来年以降も引き続き民間に委託するのかと尋ねたところ、やまとクリーンパークで不燃・粗大ゴミ処理の設備が設けられている以上、不燃・粗大ゴミ処理施設の利用に努めるとの回答を得ました。

松本 美也子 議員

一般質問にて、1. 子どもの読書活動推進のために、学校図書室の環

負契約締結について、耐震工事の今後の予定は。

回答 平成29年度については南幼稚園耐震補強工事を施工し、田原本幼稚園と平野幼稚園の実施設計業務を行い、次年度以降も計画的に耐震化に取り組みたい。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」の経過について、平成31年度実施に向け取り組み中である旨の報告を受けた。

《厚生建設委員会》

質問 道の駅レスティ 唐古・鍵の設置及び管理に関する条例について、販売施設の利用料の考え方は。

回答 町内と町外の事業者の差別化を図り町内の方が有利となる様配慮し料金設定を行った。

質問 交流促進施設(道の駅)建設工事請負契約締結について、建設工事、付帯工事含め一括発注を行った理由は。

回答 限られた期間の中で備品等の搬入等までの完了が必要なことから一括発注を行った。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

担当課から報告 建設中の遺構展示施設は9月末での完成予定。今後、平成30年3月での完成を目指し遺構展示施設内部の展示部分の他、公園

境整備について、2. 防災対策について(1)水害・豪雨対策について(2)指定避難所の防災機能及び備蓄品の整備について、現状と今後の取組みについて一般質問しました。

特別委員会では唐古・鍵遺跡史跡公園の開園にあたり、周辺自治会等の地元の皆様には多大なご理解とご協力が不可欠であることから、定期的な意見交換等の協議の場の設置や感謝の集い等の開催、また、開園前の特別招待の実施等について要望しました。

小走 善秀 議員

道の駅レスティ 唐古・鍵が平成30年3月いよいよオープン予定である。道の駅は町の玄関、観光の拠点である。魅力ある写真を撮って頂くことは町の大きな宣伝となる。町の魅力を全国に広める為に、撮影ポイントとして、道の駅展望台の開放や景観に配慮し付近の電線の地中化を検討頂きたい。

また、本町には、鏡作神社がある。春秋の例祭には、多くの鏡、ガラス業界の方達が参拝され、その中には東京の全国鏡組合理事長もおられる。田原本町が鏡の発祥の地として鏡の製作・販売、鏡製作体験などのPRを提案した。

入口インフォメーションゾーン、復元整備ゾーン及び東屋等3棟の建設等、順次着工予定。

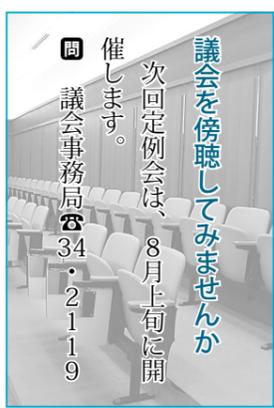
また、公園に隣接する多目的広場の整備も平成30年3月での完成予定。史跡公園の開園後における管理運営について、法令・維持管理・運営を3つの柱に検討し、「唐古・鍵遺跡史跡公園管理運営計画」を策定したい旨の報告を受けた。

《清掃工場建設検討特別委員会》

質問 平成29年度田原本町一般会計補正予算(第1号)について、民間への不燃・粗大ゴミの処理の委託はいつ頃までを考えているのか。

回答 やまとクリーンパークでの処理が本来であるので、同施設での処理に向け組合と協議中である。

担当課から報告 4月3日から町清掃センターの操業を開始し、やまとクリーンパークについては、建設工事がほぼ完了し、6月19日には竣工予定である旨の報告を受けた。



次回定例会は、8月上旬に開催します。

議会事務局 ☎34・2119

吉川 博一 議員

史跡公園の南東部の隣接地を、イベント等を行う多目的広場や駐車場として活用する予定の用地(約4200㎡)の売買契約を締結した旨の報告を受けました。史跡公園の入口と反対側に位置し、町外の来訪者には特にわかりにくい場所なので活用については充分検討していただきたい。このような目的の用地取得は価格だけでなく、位置関係も重要と考えます。

また、史跡公園の管理運営について、「唐古・鍵遺跡史跡公園管理運営計画」を策定したいと報告を受けました。効率的で継続可能な管理手法が求められます。

牟田 和正 議員

認定こども園についての町の方向性について説明があり、昨年度より町内幼稚園で実施している預かり保育は好評で、今後は幼稚園を認定こども園化する方向で取り組むとの報告がありました。認定こども園ができることと保育所の待機児童の減少が見込めます。待機児童は全国的にも大きな問題で、本町でも毎年少なからず待機児童があります。安心して子育てできるまちづくりは若い世代の定住に繋がり、人口増など町の継続

的な発展につながる重要な課題であることから早期に事業が開始できるように取り組みを求めました。

阪東 吉三郎 議員

一般質問にて、公共建物の非構造部材（天井・照明器具・外壁・階段等）の耐震対策について青垣生涯学習センター、役場庁舎、ふれあいセンター、中央体育館等は耐震化済み、その他未補強の施設については現況確認や点検により対応するとの回答を得た。

待機児童（潜在的待機児童を含む）の解消に有効な認定こども園の設置について尋ねた。幼稚園を認定こども園化することで、受け入れに余裕ができ、保護者が、必要とする時に、入所する施設を自由に選択でき、待機児童が解消されるため計画を進めるとの回答を得た。

森井 基容 議員

本町役場において、庁舎内禁煙のルールがあるが、敷地については規定がないのが現状です。駐車場から庁舎までの道筋で、タバコの吸殻をよく見かけます。このことから、喫煙者の方々のマナー向上の観点から、喫煙スペースを設置してはどうかとの一般質問をし、前向きな答弁を得ました。

唐古鍵遺跡整備検討特別委員会では、平成30年の開業に向け順調に進んでいる旨の説明を受けました。「史跡公園」「道の駅」「多目的広場」が三位一体となって本町活性化の起爆剤となってくれることを願うばかりです。

安田 喜代一 議員

来春のオープンを目指している、道の駅レスティ 唐古・鍵の設置及び管理に関する条例が可決されました。内容は、農産物直売所・特産品等販売施設、飲食提供施設、多目的室、展望施設及び観光情報等提供施設などの開館時間は、午前9時から午後6時、駐車場やトイレは終日利用でき、休館日はなしです。また、販売施設の利用料金は、町内産農作物は売上額の15%以下、それ以外の物品は40%以下と町内産が有利に設定されています。町内の農産物や特産品の販売により、「田原本町」の活性化を期待します。

森 良子 議員

総務文教委員会で、4月から路線バスの廃止に伴い運行されている国保中央病院送迎バスについて、この送迎バスは田原本駅から国保中央病院間のみで運行されており、本年4、5月の合計利用者は2291人

（内889人は病院職員）でした。

デマンドタクシー「ももたろう号」だけでは使いにくく、通院、買い物に不便なので定期運行の路線バスの要望があることを伝えました。

尚、「ももたろう号」については来年度に向け新たに業者選定を行う見直しの年なので、広く検討しサービスク拡充に努めたいとの答弁でした。

古立 憲昭 議員

厚生建設委員会にて、地域包括支援センター窓口が社協から役場内に移されたことによるメリット、デメリットを問う。利用者とのトラブルは起こっていない。窓口が移ったことにより関係者間のコミュニケーションが円滑となり、連絡、連携が良くなり対応がしやすくなったとの答弁。

国保の県単位化（県一本化）の進捗状況を問う。最大の関心は単位化後の本町の保険料（国保税）がどうなるのかである。保険料について、県の試算では増額となる見込みであるとの答弁。値上げでは広域化のメリットが疑われる。

竹邑 利文 議員

人事に関して副町長不在はいつまで続くのか質し、本町をよく理解して、愛し、尽力し、よりよい人間性

と能力のある方を人選中と、また女性課長級0人はなぜか、男尊女卑にならぬよう質し、男女雇用機会均等法・女性活躍推進法の趣旨も踏まえ積極的な管理職への登用に努めると町長の回答を得た。

児童・生徒の交通事故防止対策については、ハード面・ソフト面で、学校、地域一体で取り組むと回答を得た。道徳教科書については、道徳教育推進リーダーの育成に取り組み教員は今まで以上に多様な授業展開や指導方法の工夫をすると回答を得た。

辻 一夫 議員

農業委員会等に関する法律改正後、新制度による初めての委員13名が議会で同意されました。今後同意を得た委員は町長より任命され、地域の農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進に取り組んでいただきます。地域の農業の活性化に期待しております。

また、「農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる意見書」が提出され、稲作農家の継続、食料の自給、水田のもつ多面的機能（環境・治水・文化教育等）の保持等必要と考え賛成し可決されました。